



【指標の説明】

インシデント報告、内容別の件数です。
 薬剤に係るインシデント報告が多く見受けられますが、全てのインシデント報告は「未然に防げた」報告が多く含まれているため、「インシデント報告件数の多さ」＝「危険」というわけではありません。
 むしろ誤投薬や誤飲を未然に防ぎ、患者さんには正しい薬が届いています。現在、全病棟に薬剤師も配置されているため、患者さんに薬剤が渡るまでに多くの眼でチェックしています。したがって、薬剤関連のインシデントが減少傾向にあります。
 療養上の世話についても、看護師が気付いた点やそのまま進めると危険であるという行為について報告を上げ、関係者に周知し注意喚起を促す材料にもなり得ています。

一般に全インシデント報告数は、病床数の5倍以上が望ましいと言われており、当院は5,000件以上の報告数で基準数は超過しています。（2025年度 年度報告総数：5,554件）